

アジアの仏教文化と大宰府

－観世音寺不空絹索観音立像をめぐって－

九州国立博物館
小泉恵英

■観世音寺の不空絹索観音像

*観世音寺の歴史

天智天皇が母斉明のため発願、創建の勅願寺（『日本書紀』和銅2・709条）

*観世音寺の巨大仏像群

十一面観音、馬頭観音、不空絹索観音

*不空絹索観音像の像容と胎内納入品

塑像、経典、心木

■観世音寺の成立まで

*発願から完成まで80年？

『続日本紀』和銅2年（709）の記述＝観世音寺造立の督促
発願の経緯

*寺院の完成はいつか？

7世紀末

養老7年（723）

天平18年（746）

*古代寺院の造営にかかる時間

1つの堂塔の建立は4年ほど

なぜ、工事が遅れたか？

*延喜5年（905）『観世音寺資財帳』にみる仏像

*観世音寺の伽藍配置

川原寺との関係

■勅願寺

*初期の勅願寺

丈六仏の安置

*巨大仏塔の建立と転輪聖王



<https://www.fukuoka-bunkazai.jp> より

日本 百済大寺
中国 洛陽永寧寺
新羅 皇龍寺
ガンダーラ 雀離浮図

■飛鳥～奈良時代の丈六仏、材質、仏像の様式の変遷

* 仏像様式の変遷

中国南北朝～初唐様式へ

* 大安寺の本尊

* 仏像の材質

金属、漆、土、木、石、染織、絵画

* 木彫像

* 仏像と台座の材質

* 乾漆像

* 塑像

塑像の作り方

當麻寺弥勒如来像

岡寺如意輪観音坐像

* 岡寺の不空罽索観音立像

* 仏像の耳のかたちあれこれ

■不空罽索観音像

* 不空罽索観音の信仰の成立 アモーガパーシャ

ヒンドゥー教との関わり（大自在天、摩醯首羅天）

* 不空罽索観音經典の日本への伝来

『不空罽索呪経』一卷。隋・闍那崛多訳。開皇7年（587）が最古

* 玄昉の經典将来と日本の密教

玄昉は天平17年（745）に筑紫観世音寺別当に

* 『図像抄』巻六観音上

上代の不空罽索観音（東大寺、興福寺、岡寺）

■日本の不空罽索観音像

* 東大寺法華堂像

* 興福寺講堂（南円堂）像

* 広隆寺金堂像



『美術院紀要』11号、2019より



『中国石窟雕塑全集』2001より



『日本の美術』382、1998より

■ アジアの不空罽索観音像

(敦煌、大足、インド、インドネシア)

* 中国、敦煌 (ギメ東洋美術館)

仏の P. ペリオが発見

鹿皮衣

「伯空卷索菩薩」

* 中国、四川大足石窟

日月

* インド、ウダヤギリ出土像

尊名同定の難しさ

ヒンドゥー教的な造形 (持物)

* インドネシア、中部ジャワ、

ソロ (スラカルタ) 出土像

インド・パーラ朝の影響

* インドネシア、東部ジャワ、チャンディ・ジャゴ

シンガサーリ王朝第4代王ウィシュヌワルダナ

ポートレートスタチュール

* インドネシア、中部スマトラ、ロチョ出土像 (ジャカルタ国立博物館)

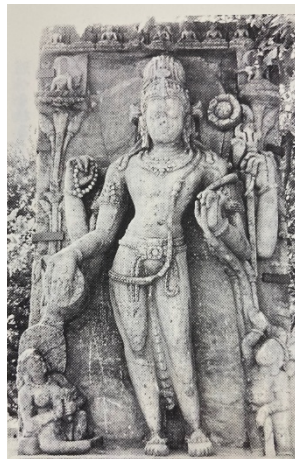
台座に転輪聖王の七宝



『西域美術』第1巻 1994 より



『中国石窟彫塑全集 第七巻 大足』2000 より



近大蔵書蔵『観音菩薩の具足な像と不空罽索』2015より



A.J. B. Kempers, Ancient Indonesian Art, 1959 より